

卓話『環境に配慮した次世代フード「コオロギ」の、IoTによる先端テクノロジーを活用したスマート昆虫養殖』坪井大輔様 担当:職業分類・会員選考委員会

◆会長挨拶

昨日の「母の日」皆様いかが過ごされましたか？この時期はお店もカーネーションで彩られ華やかですね。お花を贈られたり、ご家族での会食などのイベントをされたのでしょうか？我が家もお取り寄せなどをして、ささやかな母の日を過ごしました。6月にはいつの間にか作られた父の日が来ますが、毎年明らかに家族が注ぐ熱量が5月とは違うように感じております。今年はどのぐらいの熱量か楽しみにしたいと思います。

本日の卓話担当は、職業分類・会員選考委員会です。講師は坪井大輔様です。皆様拍手をお願い致します。坪井様は株式会社クリケットファーム 代表取締役を務められていらっしゃいます。事業内容は、今世界で大変注目されている次世代フード 高たんぱくな食用コオロギの養殖産業で、アプリやセンサーを駆使したスマート工場で養殖・加工・販売をされています。詳しいご紹介は担当の田中委員長にお願いすることにして、どんなお話を聞かせて頂けるか楽しみにしておりますので、よろしくお願い致します。

一昨日、地区の第33回ライラに参加してまいりました。上沢ガバナーより山崎会員を通じて参加要請のじきじきのプレッシャーを頂き、急遽の参加となりました。本年のホストクラブは駒ヶ根RCでした。RYLAは「ロータリー(R) イース(Y) リーダーシップ(L) アワード(A)」の略で、青少年奉仕活動の一端でロータリー青少年指導者養成プログラムです。14歳～30歳までを対象とし簡単に言えばクラブ・地区が実施するプログラムの中で若者が楽しみながら新しい友人たちとの交流を深めリーダーシップスキルを磨いて行くというもので、そこにロータリアンも参加して経験則などを伝えお手伝いさせて頂く活動です。特に今期の上沢ガバナーの青少年奉仕への熱意は並々ならぬものがあります。初めての参加で勝手がわからなかったのですが、13日の基調講演がネパールについての活動でしたので興味を持って聴講しました。グループ分けをし、高校生・各国の留学生・RCの会員が同じテーブルについてテーマに沿っての意見交換なども行い、なかなかの活気でした。

先週、左近さんのお話をお聞きしましたが、我がエコは独自にタルー族への支援活動を行って来ました。ライラの基調講演を聞くにあたり、活動内容は色々ありますが、現地の方々との地道な交流による信頼関係を構

築しながら現地の方々の自立支援を行うということにおいて、エコは同じ活動をしているのだと誇りに感じました。

最後になりましたが、コマクサ支援金の贈呈時期となりました。井口会員に山小屋の浦野さんに連絡をとって頂いた所、今年も「タルチョ祭り」は開催しないとお返事でした。支援金贈呈に関し小野委員長と相談しましたところ、井口会員が、15.16日に根石と硫黄の山荘に宿泊予定のリピーター山中さんにお会いする為に山荘に上られる計画とのお話を伺いましたので、その折にコマクサ支援金を浦野さんにお渡しすることを井口会員にお願いすることになりました。平日ですが、各個人の参加は歓迎ですのでよろしくお願い致します。

私はご覧のとおり虚弱体質の上、高所恐怖症のおまけつきですので、申し訳ありませんが参加を見送らせて頂きます。

◆ゲスト 株式会社 CricketFarm (クリケットファーム) 代表 坪井大輔様

◆幹事報告

- ・委員会事業報告 6月5日までに提出
- ・クラブ計画書用名簿・同好会 チェックのお願い(回覧)

◆委員会・同好会報告

- 《青少年奉仕委員会》
- ・薬物乱用 ダメ・ゼツタイ募金のお願い

◆卓話

◆環境に配慮した次世代フード「コオロギ」の、IoTによる先端テクノロジーを活用したスマート昆虫養殖 坪井大輔様

【CricketFarm Corporation 会社概要】

所在地：岡谷市 小規模養殖場・加工所／茅野市 大規模養殖場・販売所
設立：2021年8月
従業員数：正社員0名/パート3名/外注1名



【Background CricketFarm】

・世界人口 食糧不安層 25% ・世界人口水不足 40%
 ・世界タンパク質不足 2030年 ・世界人口 2050年 100億
 ・日本17歳以下相対的貧困率 13.5% ・日本カロリーベース自給率 38% ・日本タンパク質摂取量 1950年
 ・日本国内価格過去5年平均 2倍 ・日本人口 2050年 1億

【Challenge Crickets】

①タンパク源確保：2030年 ②価格抑制：3,000円/kg
 ③摂取量増加：1950年 ④地球と人の健康：地球と人に良いもの

【Strengths CricketFarm】

Technology：自動給水/トレーサビリティ/遠隔管理/タスクマネジメント

Farmer：長野県茅野市認定農業者

Patent：加工技術特許申請中

Production：大量生産 国内2社養殖場2拠点（1600平米/2200万匹）

Original：効率化/生産性向上 独自養殖ノウハウ

Price：国内最安値 世界標準へ

Health：栄養価の高い粉末 世界発美容オイル

Marketing：国内最大規模工場見学

■昆虫食一食ではなく、栄養素

ゲテモノ的な興味と関心、物珍しさやアミューズメント感覚が強い日本の「昆虫食」マーケティングは、単なる一過性のブームで終わる。

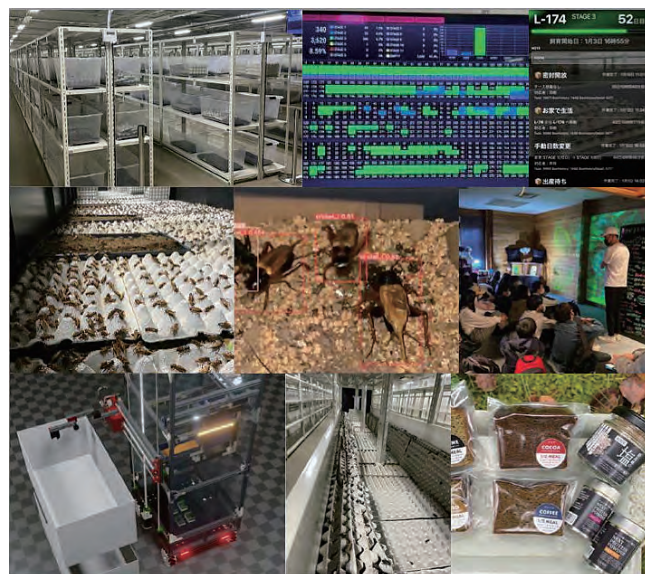
コオロギ養殖を、農業であり畜産として真剣に捉え、食事ではなく、高栄養源として普及させなければ、継続的な市場の発展はない。

■イタリアで、昆虫パウダーの法規制の理由

イタリアには1967年に施行された「パスタ法」が存在する。法律で乾燥パスタはデュラムセモリナ粉と水で作ったもの以外はパスタとは認められない。その法令に順守した伝統的パスタの中に昆虫を混合してはいけないという、食文化を守るための新たに4つの法令

■食文化継承への拘りを、イタリアに学ぶべき日本(長野)

パスタやピッツアを法規制してまで守るイタリアの姿勢



を、日本では昆虫を規制と報道されているが、逆にイタリアの伝統的な食文化への拘りを示した法規制である。であれば、アジアや日本（長野）は、昆虫を食した文化を守るために動くべきであろう。

■昆虫食に関わる陰謀論、間違った情報が拡散されています。昆虫は背かで2,000種、20億人が食している食べ物です。フェイクニュースを信じないようにお願いします。

◆第33回 RYLA 5月13・14日 河西会長出席
 大会テーマ：IMAGINE THE WORLD
 ～リーダーシップが切開く新たなステージ～



ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

- ラッキー NO.53 小島善之会員 ニコニコするメッセージをお寄せ下さい
- ニコニコBOX 39,000円
- 出席報告
 会員数 46名 出席 29名 欠席 17名
 出席率 64.44% 訂正 80.0%

今週のプログラム 5月22日(月) PM0:30
 マリオ/卓話 田村和己会員・プログラム委員会

次週のプログラム 6月5日(月) PM0:30
 マリオ/新年度組織発表・新旧引継ぎ